

## 特集 感想文 読書 感想文 おすすめ本

### 突撃！となりの仕事人 ベリーダンサー

[わかば]VOL.29  
08-09/2011  
長崎県立図書館

#### 編集後記

去年の夏に本館のこどもとしょかんで「読書感想画コンクール」の作品を展示したのですが、どれも本当にすばらしくてとても感動したのを覚えています。今年も展示できるといいな  
(編集：A・K)

夏休みというと、友人と競うようにして図書館で本を借りていたのを思い出します。時間がいっぱいあるのだからと、分厚い本ばかり借りて、リュックサックがばんばんになっていました。しかし全部読めていたかという、途中で時間切れになっていたように思います。長いようで、短い夏休み。みなさん、素敵な思い出ができるといいですね。  
(編集：S・T)

今回の表紙はスイカでパシャリ スイカ割りって夏の定番イベントな気がするんですが、未だにやった事ないです。割れたらスカッとするんだらうな～。みんなも今年の夏にチャレンジしてみる！？(編集：C・F)



#### #YAコーナーからお知らせ#

##### 特集テーマ「読書感想文おすすめ本」

8月の特集は、先月にひきつづき読書感想文に役立つおすすめ本を集めました。夏休みの宿題は順調に進んでいますか？図書館も学生の皆さんを応援しています！

##### 投稿テーマ

##### 8月「Bookmarker(葉)コンテスト」

##### 9月「イチオシMOVIEを教えてください」

8月は先月と同様、葉のイラストコンテストを行います。そして9月はみんながぜひ紹介したいと思うイチオシ映画を教えてください。

#### #図書館を利用するみんなにお願い#

※宿題や試験勉強などの自習はスタディールームを利用しましょう。

図書館の閲覧席は読書や、図書館の本を使って調べものをする方のために用意している席です。

館内の閲覧席やグループ学習室での自学自習はご遠慮ください。なお、図書館は玄関前も含めて建物・敷地内ではレストランを除き飲食ができません。

「WAKABA」第29号(YA通信/8・9月号)  
表紙の写真:五島町公園 発行:YA編集部  
Nagasaki City Library,2011

# 突撃となりの仕事人



今回の仕事人はベリーダンサーのshinoさんにインタビューしてきました♪ベリーダンスの本場であるトルコやエジプトに毎年足を運ばれる程、日々情熱を注がれています。

今月のお仕事  
ベリーダンサー

仕事人ファイル:9  
ベリーダンサー  
しの  
shino さん



YA:この仕事を目指したきっかけは？  
大人になってからベリーダンスを踊る機会に恵まれた事がきっかけです。

YA:お仕事で大変なことは何ですか？  
すべての経験はダンスに生きてくるので、特に大変だとは思っていませんよ。

YA:ベリーダンスの魅力は何ですか？

いろんな愛の形が表現できる所です。女性としての性も大事にできるダンスだと思います。どの年齢の方でも始められて、いくつになっても続けられる事も魅力ですね。その年齢でしか出せない味があって、1人ひとりの個性が生きる所も良いです。

YA:年に2回、勉強のために海外へ足を運ばれるんですね。

エジプトは音楽に寄り添い優雅に踊る(エジプシャン)、トルコは力強くダイナミックなダンス(ターキッシュ)と、国によって雰囲気も違うんですよ。いまの流行を肌で感じながら、変わらない本質を再確認します。

YA:お休みの日は何をしますか？

音楽を聴いて、家でゆっくりします。美味しいごはんを食べに行くのも好きです。

YA:オススメの映画を教えてください。

白黒のエジプト映画は良いです。当時の素晴らしいベリーダンサーがたくさん出演しています。Samia Gamal出演の映画はどれもとても勉強になります。

YA:最後にこの仕事を目指す人たちにメッセージをお願いします。

舞踏家としての技術を追求するのは勿論ですが、いろんな経験をする事が一番大事です。人や本、映画、音楽など、いろんなものをたくさん味わって、自分の中で比較できるものをたくさん作って下さい。その経験は全てダンスに表れます。生きることと一緒にですね。

あたたかい笑顔で迎えて下さり、お話を聞かせてくださったshinoさん。レッスンの合間に快くインタビューを受けていただきありがとうございました。  
次回の「仕事人」もお楽しみに♪

# 読書感想文 おすすめ本

夏休みの宿題を図書館でもサポートできるように読書感想文におすすめの本を特集します

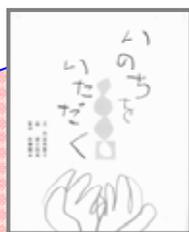
「きよしこ」重松 清/著 新潮社 F/913.6/シゲ (¥1300)

言葉の最初の音がつっかえちゃってうまくしゃべれない、そんな少年がクリスマスに出会った「きよしこ」から言われた言葉。「君のほんとうに伝えたいことだったら…伝わるよ、きっと。」主人公の少年が少しずつ大人へと成長していく姿が、7話の短編を通して描かれている。



「いのちをいただく」内田 美智子/文 諸江 和美/絵 佐藤 剛史/監修 原作/坂本義喜 西日本新聞社 Y/648.2/ウ (¥1200)

私たちは食べ物を食べて生きている。生きることは食べること。人が生きるということは、命を頂くこと、殺すこと…。食肉加工センターに勤める人の話をもとに、食べ物のありがたみや感謝して食べることの意味を考える。



「ころこ 不思議な転校生」七瀬 晶/著 角川書店 Y/913.6/ナナ (¥1600)

中学3年生の絆はクラスのグループから外れないよう、気を使いながら暮らしていた。そんな中、転校してきた美少女のころこ。少しずつ歩み寄る絆ところこだったが、ころこには大きな秘密があり絆もその秘密に巻き込まれていく。二人の友情、クラスメイトとの関係はどうなるのか？絆の身に起きた不思議な出来事を通して、人のつながりについて考えさせられる一冊。



「僕の明日を照らして」瀬尾 まいこ/著 筑摩書房 F/913.6/セオ (¥1400)

中2の隼太に新しいお父さん・優ちゃんが出た。優ちゃんには大きな問題があるけれど、隼太はその秘密を抱えこんで何とかこの関係を守ろうとする。先の見えない僕の明日はどうなる？



「宇宙のかげら」竹内 薫/著 片岡 まみこ/絵 講談社 440/タ (¥1429)

宇宙について考えるために、物理学者は数式を使う。なかでも有名なのがアインシュタイン方程式。宇宙が産まれて、どんどん大きくなって、銀河や星や惑星や穴ができて、さいごに宇宙の鼓動がとまるときまでを、イラストとともに紹介。



# Do you know? 長崎県の子どものにすすめる本

## 500選

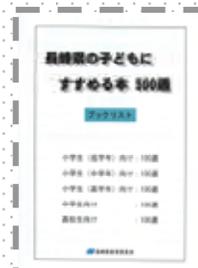
YAコーナーに新しく展示コーナーができました！「長崎県の子どものにすすめる本 500選」を紹介します。

長崎県内の色々な図書館で働いている司書の声をもとに、中学生・高校生に読んでほしい本のリストをつくりました。

ここでは中・高あわせて200冊の本を展示しています。市立図書館の司書がオススメした本もあるよ！

ふだんは読まないジャンルの本でも、読み始めてみると意外と面白いものがたくさんあります。ためしに手にとってみてね

1階フロア  
YAコーナー  
34番棚



# キラリ作家★ ラルフイーザウ

**\*作家紹介\*** ラルフイーザウ(Ralf Isau)  
ドイツの作家。コンピュータのソフトウェア設計の仕事の傍ら執筆活動を開始。1992年娘のために書いた私家版作品がミヒャエル・エンデの目にとまり、作家デビューする。ファンタジーの伝統とコンピュータゲームの興奮を合わせ持つ独特の作風で、「エンデに次ぐドイツ・ファンタジーの旗手」と目される。  
参考文献: WHOPLUS (データベース)



「盗まれた記憶の博物館上・下」ラルフイーザウ/著 酒寄 進一/訳 あすなる書房 Y/943.7/イ (¥1900)

父さんが、弟が、次々と消えていく。誰かが私の記憶を消そうとしている…。双子の天才コンビが古代から現代まで、時空を超えて謎に挑む壮大な歴史ロマンファンタジー。

「ファンタジーエン 秘密の図書館」ラルフイーザウ/著 酒寄 進一/訳 ソフトバンククリエイティブ Y/943.7/イ (¥1800)

表紙に二匹の蛇が描かれたあかがね色の本は、どうやって街の古本屋にたどりついたのか。古本屋の老主人がファンタジーエンでしてきた冒険とは…。



「暁の円卓 1 目覚めの歳月」ラルフイーザウ/著 酒寄 進一/訳 長崎出版 Y/943.7/イ (¥1900) 全9巻

トーキョーに生まれた主人公デービッドと、全人類を破滅させようと企む秘密結社「暁の円卓」との百年にわたる戦いの物語。全9巻の大作。